

舞鶴幼稚園、堂奥・多門院・成生の歴史 資料調査

東 昇

2014 年度から地域貢献型特別研究費（ACTR）の事業として、「京都歴史資料の調査・活用・公開－舞鶴幼稚園と京田辺市－」（代表：東昇）の調査と研究を実施している。

舞鶴市教育委員会・舞鶴幼稚園の提案は、昨年度 130 周年を迎えた府下現存最古の幼稚園の資料整理、市指定文化財への申請を共同で実施するという内容であった。舞鶴市に加えて京田辺市からの提案を、同じ京都府下の歴史資料に関する調査・活用・公開という研究としてまとめ進めている。今年度は、①舞鶴幼稚園資料の整理（安藤智美報告）、②堂奥現地調査、③多門院現地調査（迎田幸志郎報告）、④成生歴史資料調査、⑤「文化遺産叢書」の刊行を行った。研究体制は、歴史学科の横内裕人が研究分担者となり、これに舞鶴市教育委員会、舞鶴市立舞鶴幼稚園が研究協力者として加わっている。そして文化情報学研究室の学生が調査に参加した。

1. 堂奥現地調査

2015 年 3 月 1 日、2014 年度からの堂奥地区の現地調査、区有文書調査の成果をもとに、「舞鶴市堂奥地区現地調査成果報告会」を、舞鶴市教育委員会・京都府立大学文学部歴史学科文化遺産コースの主催により、堂奥公会堂で実施した（写真 1）。ここでは、東昇・松村祥志「堂奥の現地調査と区有文書調査でみえてきたこと」、樋口隼（京都府立大学学生）「山口神社の祭と地蔵盆の関係性」、田島靖大（同）「堂奥地区山口神社の石造物調査」を報告した。約 30 人の参加者があり、意見交換会では調査における不明点など数多く指摘していただいた。そして氏神山口神社祭礼を共同で行っている多門院からも調査の依頼があった。その後、7 月 19 日堂奥樹徳寺住職より薬師堂の由来をうかがい、2016 年 1 月 23 日堂奥地区で、調査報告書の内容確認、聞き取り調査を行った。

2. 成生歴史資料調査

2015 年 8 月、高橋大樹氏（大津市歴史博物館）から、舞鶴市成生地区の文書資料の情報を得た。以前佛教大学民俗学研究会が調査しており、数件の文書が確認されていた。舞鶴市教育委員会の調整により、10 月 18、19 日成生で歴史資料調査を実施した。東昇、高橋大樹、小室智子（舞鶴市教育委員会）、小西とも子（舞鶴市文化財保護委員）、井上真実（京都府立大学院生）、棟田成紹（同）が参加した。大浦半島の東端、若狭湾に面した成生地区は、船小屋など舞鶴の漁村の特徴的な景観が現存する地域である。庄屋家、漁業組合文書について、佛教大学調査時の目録の内容確認、近世文書の撮影、付箋・袋・箱入れなどの保存措置を行った（写真 2）。近世初期の文書、大型の漁場絵図、地籍図などもあり、貴重な歴史資料群といえる。今後、調査

方法を検討し、来年度以降も継続し整理する予定である。

3. 「京都府立大学文化遺産叢書」の刊行

これまで舞鶴を対象とした、「舞鶴市の文化遺産調査と活用」（代表：上杉和央、2013～2014年度）、「京都歴史資料の調査・活用・公開－舞鶴幼稚園と京田辺市－」（代表：東昇、2014～2015年度）等の調査成果をもとに、『京都府立大学文化遺産叢書』11号を刊行した。『舞鶴地域の文化遺産と活用』と題して、本報告で取りあげた舞鶴幼稚園資料目録、解題、堂奥・多門院の祭礼、区有文書、現地調査報告の他、加佐郡村誌の分析や、地理学研究室の由良川から松尾寺までの景観調査、和田調査聞取報告、考古学研究室の堂奥・長浜の石造物調査報告を収録した。本報告書の成果を活かし、来年度以降、舞鶴幼稚園資料は市文化財へ申請予定である。



写真1 2015年3月1日舞鶴市
堂奥地区現地調査成果報告会



写真2 2015年10月18日成生
歴史資料調査